

「未来に引き継げる徳島」の実現に向け 御社のお力添えをお願いします！

企業版ふるさと納税とは

企業が地方公共団体の地方創生の取組に寄附した場合に、税額控除を行うものです。

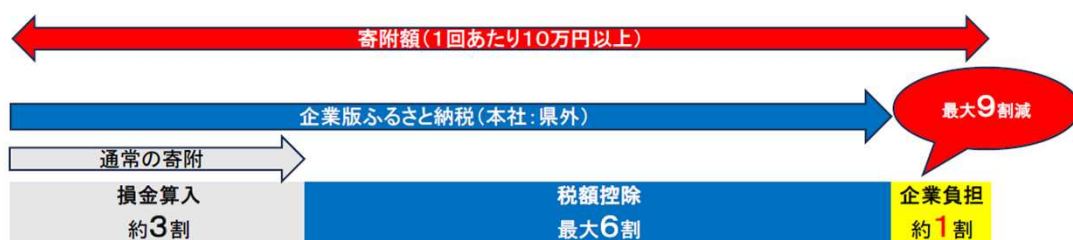
※本制度を活用して徳島県に寄附ができるのは徳島県外に本社がある企業です。

また、寄附の代償として経済的利益を受けることは禁止されています。



税務上の高いメリット(法人税等の軽減効果)

通常の寄附における損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせ、税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。



様々なメリット(企業の皆様からの声)

● 企業のPR

「寄附による社会貢献を通じて、企業の社会的なイメージアップに！」

● SDGsやESGに寄与

「環境保全や脱炭素に係る取組を応援し、サステナビリティに貢献！」

● 縁のある地への支援

「創業地や縁のある徳島県を応援することで、地域に恩返しできた！」

● 各種団体との新たなパートナーシップを構築

「自治体や教育機関などと日頃からのコミュニケーションが生まれ、新たなビジネスチャンスにつながった！」

● 寄附活用事業が社員のやる気向上に

「子育て世代の社員として、自治体の子育て事業に協力していることに誇りを感じ、モチベーションがアップした！」



● 次のプロジェクト集の中から、寄附をご希望されるプロジェクトをお選びください！

● また、寄附をご希望されるプロジェクトがない場合は、徳島県とともに協働プロジェクトを創り上げることも可能です。お気軽にご相談ください。

【制度に関するお問い合わせ先】徳島県 経済産業部 産業創生・大学連携課

H P : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/furusato-ouen/company/about/>

電話 : 088-621-2124 メール : sangyouseiseidaigakurenkeika@pref.tokushima.lg.jp



徳島県 トピックス



新時代へ
躍り出そう
TOKUSHIMA

総合計画のビジョンである「未来に引き継げる徳島」を実現するため、「安心度UP」「魅力度UP」「透明度UP」を3大ミッションとして、新時代の政策を展開しています。

安心度UP



トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム
「拠点形成支援事業」に徳島県がR7年度採択！



「職域がん検診受診体制整備奨励金」のR7年度創設や
新たながん検診啓発キャラクター「がんムシ君」による
集中的な啓発を展開

魅力度UP



© 2025 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO.P170718-2

「徳島おどりフェスタ」2025を開催



最低賃金 R6年度全国最大の上げ幅
R7年度も大幅な引き上げ

透明度UP



県庁11階「食堂・展望者ロビー」を
県産木材を使ってリノベーション
→R7年グランドオープン！



とくしまDX推進HUB「toku-Noix(とくのわ)」が
徳島駅クレメントプラザ5階にR7年度オープン！

徳島県 企業版ふるさと納税 寄附対象プロジェクト 一覧

安心度 UP

徳島新未来創生に向けた教育再生

- 徳島の未来を拓くグローバルリーダー育成事業

切れ目のない子育て支援をはじめとした「こどもまんなか社会」の実現

- こども未来基金積立金

グリーン社会の構築

- 「ネイチャーポジティブ」普及促進・実践事業
- 森林等活用プロジェクト

健康づくりの推進と医療・介護・福祉の充実

- 徳島がん対策プロジェクト

危機管理体制の充実と県土強靱化(レジリエンス)の推進

- 避難所プッシュ型支援推進事業

魅力度 UP

観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

- とくしままるごとeスポーツ推進事業
- アリーナを核とした「新たな賑わい」創出プロジェクト
- とくしまマラソン開催支援事業
- 林道の魅力度アップ！とくしま林道活用事業
- 大鳴門橋自転車道プロジェクト

文化芸術の振興

- 藍場浜公園西エリア・新ホール整備事業

スポーツ立県の推進

- 徳島県未来の運動部活動・スポーツ応援プロジェクト

攻めの農林水産業

- 林業担い手確保プロジェクト
- 森林等活用プロジェクト(再掲)
- 日本農業遺産”樵木林業”ステップアップ事業

地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

- 徳島バッテリーバレイ構想
- ディープテック・イノベーション創出総合支援事業

労働力・後継者不足対策の推進

- 林業担い手確保プロジェクト(再掲)

国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

- 官民協働プロジェクト推進事業
- 日本のだ真ん中で魅力発信！事業
- 新町川のにぎわい創出事業

透明度 UP

開かれた県政運営の推進

- 未来につなげる広報事業

徳島の未来を拓くグローバルリーダー育成事業

ミッション: 安心度UP

戦略1 徳島新未来創生に向けた教育再生

事業期間: R7年度～9年度

総事業費: 62,500千円

※国からの交付金支援期間の総事業費

コンセプト・目指す成果

本県高校生等に、海外留学によって地域課題を探究する機会を提供することを通じて、「国際社会の中で、これからの地域の方向性を考える視座」、「国内外の他者と協働して、失敗を恐れず課題解決に挑戦し続ける強い意志」、「地域への愛着を持ち、その発展に貢献しようとする志」等を持つグローバルリーダーを育成する。

プロジェクトの内容

「トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム『拠点形成支援事業』」を活用し、高校生等が自ら地域課題等の課題を立て、他者と協働して解決の道筋を探る「探究活動」に重点を置き、海外で探究活動を行うための海外留学の支援を行うとともに、留学を通じて得た知見や経験を帰国後に地域へ還元する機会を設けることで、「地域から世界へ挑む」機運の醸成を図る。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 高校教育課 グローバル・文化担当

電話：088-621-3134

メール：koukoukyouikuka@pref.tokushima.lg.jp

こども未来基金積立金

ミッション: 安心度UP

戦略3 切れ目のない子育て支援をはじめとした「こどもまんなか社会」の実現

事業期間: R5～R11

総事業費: 3,016,600千円 (R7.11までの元金積立額)

コンセプト・目指す成果

少子化の進行に加え、児童虐待の増加やこどもの貧困など、こどもを取り巻く環境が深刻さを増す中で、効果的な対策を早急に行うための財源確保を目指す。

プロジェクトの内容

本県の未来を担うこどもが、等しくその権利が擁護され、自立した個人として健やかに成長することができる社会の実現を図るとともに、人口減少を克服するため、「こども未来基金」を創設し、市町村における子育て支援策の推進支援、放課後児童クラブ利用料軽減、不妊治療費の助成等を実施。



令和7年度 徳島県こども未来基金の概要(主な事業)

- ・少子化の急速な進行により、将来の人手不足の深刻化が懸念
- ・困難を抱えるこどもたちの問題は複雑化・多様化

新たに、官民を挙げて100億円規模の財源確保を目指す
「こども未来基金」を創設 (R5.12.27条例施行)

こどもの権利を大切に

こどもアイデアプラットフォーム構築事業

○ R7当初予算額 5,000千円

○ 事業概要

県に対し気軽に意見を投稿できる「こども向けポータルサイト」を構築するとともに、県内の中学生、高校生、大学生で構成する会議を開催し、県に提案を行う場を設け、こども施策に反映させます。

困難な環境にあるこどもの支援

ヤングケアラー支援体制強化事業

○ R7当初予算額 10,000千円

○ 事業概要

家族のケアを担うこどもの気持ちに寄り添った支援を行うため、学校現場への「出前授業」及び「県民向けフォーラム」や、当事者が気軽に悩みや経験を共有できるオンライン交流会等を行います。

結婚・妊娠・出産の希望が叶う環境づくり

「こうのとり」応援事業★

○ R7当初予算額 54,150千円

○ 事業概要

「不妊治療（生殖補助医療）」に係る自己負担部分を「実質無償化」するとともに、「不妊症治療」に係る費用助成制度を創設し、さらに「不妊検査」に係る費用助成を行います。

結婚・妊娠・出産・子育て応援交付金★

○ R7当初予算額 124,300千円

○ 事業概要

市町村における結婚、妊娠、出産、子育ての支援策の充実強化を後押しします。

こどもの健やかな育ちを支える

放課後児童クラブ利用料軽減事業★

○ R7当初予算額 25,000千円

○ 事業概要

市町村が放課後児童クラブの利用料を無料化または軽減する費用について補助を行います。

社会的養育の推進

こども家庭支援推進事業

○ R7当初予算額 34,689千円

○ 事業概要

児童虐待を未然に防止するなど、市町村の家庭相談支援の体制強化を図るため、子育て世帯に対する訪問支援や子育て短期支援事業などに要する経費に対し、補助を行います。

子育て支援の充実

とくしま「共働き・子育て」応援事業

○ R7当初予算額 31,000千円

○ 事業概要

「共働き・子育て」を推進するため、男性の育休取得推進をはじめ、男女ともに、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに取り組む中小企業に対し、奨励金を支給します。

※企業版ふるさと納税は、★マーク付きの事業に活用させていただきます。

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 こども未来政策課 政策調整担当

電話：088-621-2791

メール：ichimiya_hiroki_1@pref.tokushima.lg.jp

「ネイチャーポジティブ」普及促進・実践事業

ミッション: 安心度UP

戦略4: グリーン社会の構築

事業期間: 令和7年度

総事業費: 15,600千円

コンセプト・目指す成果

「環境保全」と「持続可能な経済活動」の両立を実現するため、県内の産学官金が連携し、「ネイチャーポジティブ（自然再興）」を推進することで、自然環境の保全を図るとともに、一次産業をはじめとした経済活動の活性化を目指す。

※「ネイチャーポジティブ」とは、自然を回復軌道に乗せるために、2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させることを意味し、2022年12月に開催された「生物多様性条約COP15」で採択された世界目標です。

プロジェクトの内容

令和7年4月に設立した県内の産学官金で構成する「徳島ネイチャーポジティブ経済移行推進本部」を核として、「事例調査」、「経済効果の算定」及び「人材育成のための研修会」等に取り組み、普及拡大に繋がる「実践モデルの創出」を促すことで、県内全域での「ネイチャーポジティブ」の実践を図る。

◇「徳島ネイチャーポジティブ経済移行推進本部」HP（<https://www.tokushima-nature-positive.jp/>）

【事業内容】

- ・国内外の「事例調査」
- ・人材育成のための「研修会」開催（年2回）
- ・県内事業者へのヒアリング
- ・県内における経済効果の算定
- ・実践マニュアルの作成
- ・普及促進に繋がる「実践モデル」の創出



「入会申込」のQRコード



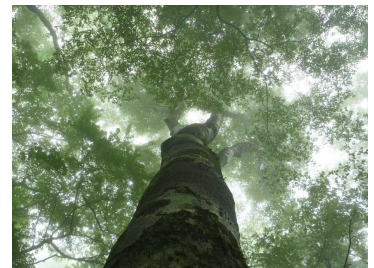
「竹ヶ島のエダミドリイシサンゴ」



「徳島ネイチャーポジティブ経済移行推進本部」



「県内事業者ヒアリング」



「高丸山のブナ」

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 サステナブル社会推進課 自然環境担当

電話：088-621-2263

メール：sustainablesociety@pref.tokushima.lg.jp

徳島がん対策プロジェクト

ミッション: 安心度UP

戦略5 健康づくりの推進と医療・介護・福祉の充実

事業期間: 令和7年度

総事業費: 21,727千円

コンセプト・目指す成果

徳島県のがん検診受診率は平均「40%台」と全国的にも低位である。

そこで県内57団体による「徳島県がん征圧共同宣言」を行い、官民一体となった取組を実施。

「がんにならない がんで若い人が亡くならない」を目標に、正しい知識の啓発、がんの早期発見・早期治療、健康経営の推進に取り組む。
皆様の1口で徳島県のがん対策をサポート。



プロジェクトの内容

正しい知識の啓発、がん検診受診率向上、健康経営の推進を目指し以下の取組を県、市町村、保険者をはじめ産業経済団体等あらゆる関係機関と連携して実施。

- ・新たながん検診啓発キャラクター及びキャッチコピーを活用した幅広い世代に対する戦略的な啓発
- ・がん検診受診方法の分かりやすい発信
- ・職域がん検診受診体制整備奨励金
- ・次世代へのがん教育



がんを早く見つけるために
～徳島県のがん対策関連情報～



がん無視すんなよ!
～徳島県のがん検診～
YouTube 15秒CM



徳島県がん検診啓発キャラクター
がんムシ君

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 健康寿命推進課 がん・疾病対策担当

電話：088-621-2223

メール：kenkoujumyousuishinka@pref.tokushima.lg.jp



避難所プッシュ型支援推進事業

ミッション: 安心度UP

戦略6: 危機管理体制の充実と県土強靱化(レジリエンス)の推進

事業期間: 令和6年度～7年度 総事業費: 91,620千円

コンセプト・目指す成果

南海トラフ巨大地震をはじめ大規模災害に備え、災害関連死を防止する「避難所QOL」の向上を図り、県民の安全・安心を確保する。

プロジェクトの内容

災害発生時に被災した市町村を県がプッシュ型支援するため、避難所運営に必要な物資・資機材を孤立地域等県内各地に分散備蓄する。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 防災対策推進課 被災者支援推進担当

電話 : 088-621-2107

メール : bousaitaisakusuishinka@pref.tokushima.lg.jp

とくしままるごとeスポーツ推進事業

ミッション: 魅力度UP

戦略8: 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

事業期間: 令和8年度～（予定）

コンセプト・目指す成果

若い世代が親しみやすいeスポーツ等のコンテンツを活用し、
複数年での若年層のデジタルリテラシーの向上を目指す。

【KPI】

アウトカム: 小中高校生のデジタルリテラシーの向上

アウトプット①: eスポーツ等を活用したワークショップ(延べ参加500名程度)の開催

アウトプット②: eスポーツを活用したにぎわい創出イベントの開催

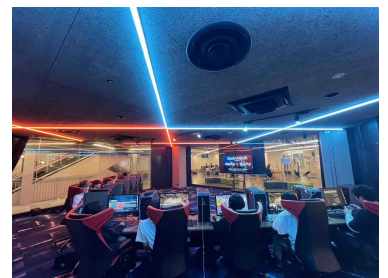
プロジェクトの内容

デジタルリテラシーとは、“デジタルを作る人”のみならず、“デジタルを使う人”が、

- ・活用されているデジタル技術に関する知識があること
 - ・デジタル技術を活用する方法を知っていること
- を指し、

DX化が進む現代社会において必要不可欠な要素であることから、
若年層の本要素の向上を目指すものである。

県内各地で「教育版マイクラフト」等を活用したワークショップを開催するとともに
ファミリー層が参加しやすいコンテンツを用意したイベントを開催することで、
「にぎわい創出」と「デジタルリテラシーの向上」を同時達成できる仕組みを構築する。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 にぎわい政策課 にぎわいづくり担当

電話：088-621-2309 メール：nigiwaiseisakuka@pref.tokushima.lg.jp

アリーナを核とした「新たな賑わい」創出プロジェクト

ミッション: 魅力度UP

戦略8: 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

事業期間: 令和9年度～

コンセプト・目指す成果

人口減少や中心市街地の活力低下など深刻な課題に直面する本県において、プロスポーツやエンタメが開催できるアリーナを核とした「新たな賑わい」を創出し、「誰もが暮らしやすく、若者に選ばれる徳島」を実現します。

プロジェクトの内容

人口減少や中心市街地の活力低下など深刻な課題に直面する本県において、「誰もが暮らしやすく、若者に選ばれる徳島」を実現し、持続可能な地方創生を図ることが不可欠です。

アリーナは、プロスポーツや音楽・文化エンターテインメントなど「本物」を体感することができ、「まち」に賑わいと活力をもたらす「エンジン」となる施設であります。

徳島東工業高校跡地でアリーナを実現することで、「県都とくしま」を中心に、アリーナを核とした「新たな賑わい」を創出することができ、交流人口の拡大や地域経済の活性化を図ることができます。



※(出典)コトブキシーティング株式会社HP
※画像はイメージです。

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 スポーツ振興課 施設担当

電話：088-621-3189 メール：sportsshinkouka@pref.tokushima.lg.jp

とくしまマラソン開催支援事業

ミッション: 魅力度UP

戦略8: 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

事業期間: 令和7年度～8年度 総事業費: 248,373千円

コンセプト・目指す成果

とくしまマラソンは、スポーツ振興やにぎわいの創出を目的とし、自然、文化、物産など徳島の魅力を全国へ発信する機会となっています。今後も持続可能で魅力ある大会とするため、運営体制の強化を図ります。

プロジェクトの内容

とくしまマラソンは、県外からも多くのランナーが参加する徳島の春のイベントとして定着しているものの、近年は参加者が伸び悩み、運営スタッフの確保も課題となっている。

新コースで開催予定の2027大会に向け、警備や救護など運営体制の強化、スタッフ・ボランティアの確保や質の向上を図り、安全かつ円滑で持続可能な大会を目指す。

また、給水や特産品エイドの更なる充実、多くの方が応援に参加できる企画などにより、参加者の満足度を向上させることで、交流人口や再訪者の増加を促し、地域経済の活性化、観光振興を図る。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】スポーツ振興課交流拡大室 マラソン交流担当

電話：088-621-2313

林道の魅力度アップ！とくしま林道活用事業

ミッション：魅力度UP

戦略8 観光立県の推進～徳島観光復活ビッグバン～

事業期間：令和7年度

総事業費：6,000千円

コンセプト・目指す成果

中山間地域のにぎわいづくりや、山間部の交流人口の増加

プロジェクトの内容

日本一の長さを誇り、オフロードの聖地「剣山スーパー林道」で、国内外のアウトドアファンを熱狂させるイベントを開催します。

また、周辺の魅力的なスポット「ファガスの森高城」「山の家奥槍戸」「四国山岳植物園 岳人の森など」ともガッチリ連携！

「四駆」「バイク」「MTB」で楽しむスリル満点のダート走行から、絶景を満喫する登山まで、アクティビティ情報をHP、SNSで発信していきます。

「剣山スーパー林道」を合言葉に、剣山エリア全体を「アウトドア天国」として盛り上げ、世界にその魅力を届けます。



とくしま林道ナビHP

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】森林土木・保全課 森林土木担当

電話：088-621-2483

メール：shinrindobokuhozenka@pref.tokushima.lg.jp

大鳴門橋自転車道プロジェクト

ミッション: 魅力度UP

戦略8: 観光立県の推進～徳島観光復活ビックバン～

事業期間: 令和5年度～9年度 総事業費: 2,800,000千円

コンセプト・目指す成果

兵庫県と連携し、大鳴門橋の「桁下空間」を活用した自転車道を設置し、交流人口の拡大、観光振興の推進、自転車人口の拡大に繋がります。

プロジェクトの内容

大鳴門橋自転車道は、神戸淡路鳴門自動車道の全通20周年を契機に、兵庫県や本州四国連絡高速道路株式会社と連携して構造設計を進め、自転車道本体の工事が決まったことから、令和6年7月22日に起工式を開催し、現在工事を進めています。

また、自転車道の開通を見据え、大鳴門橋架橋記念館のリニューアルによる受入環境整備や鳴門公園及び周辺地域の魅力度の向上に向けた取組を進めています。

開通後は、世界に誇る渦潮を眼下に鳴門海峡を自転車で往来できるようになり、兵庫県のアワイチと四国一周ルートが結ばれることから、世界に誇る広域ルートとしてサイクルツーリズムによる観光振興が期待されます。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 高規格道路課 企画・管理担当

電話 : 088-621-2505 メール : koukikakudouroka@pref.tokushima.lg.jp

藍場浜公園西エリア・新ホール整備事業

ミッション: 魅力度UP

戦略9: 文化芸術の振興

コンセプト・目指す成果

徳島県の「文化芸術振興・創造発信の拠点」として、また、文化芸術と人をつなぎ、地域の発展を支える「新しい広場」として「新ホール」を整備し、文化芸術の持つ力により、感動や希望を生み出します。

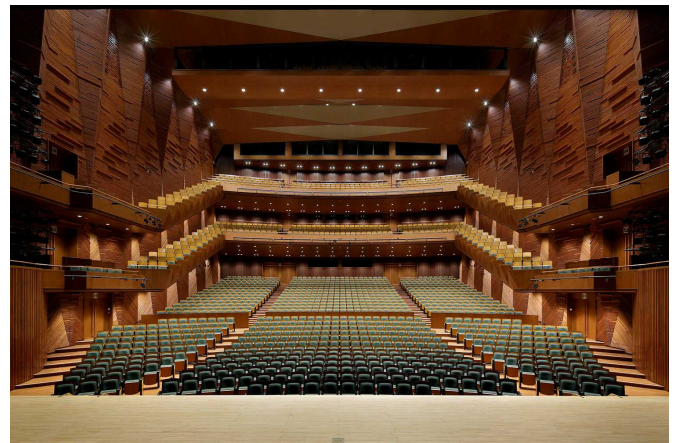
プロジェクトの内容

徳島駅周辺に位置し、新町川に隣接する「藍場浜公園西エリア」において、新たな文化芸術拠点となる「新ホール」を整備し、文化芸術を通じて人や地域に新しい変化をもたらすことで、「県民の幸福や生きがいの創出」、「にぎわいづくりへの寄与」を目指します。

〔参考〕 1,500席規模の客席があるホールの例



● 枚方市総合文化芸術センター
[1,468席]
※枚方市より



● サントミューゼ（上田市交流文化芸術センター）
[1,530席]
※コトブキシーティング（株）HPより

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】文化振興課 文化プロジェクト担当

電話：088-621-2249 メール：bunkashinkouka@pref.tokushima.lg.jp

徳島県未来の運動部活動・スポーツ応援プロジェクト

ミッション: 魅力度UP

戦略10 スポーツ立県の推進

事業期間: 令和7年から令和8年

総事業費: 3,144千円

コンセプト・目指す成果

県内スポーツ・部活動の活性化と、次世代を担うアスリートにとって望ましいスポーツ環境を整備し、国内外で活躍するアスリートを輩出する。

プロジェクトの内容

次世代を担うアスリートを育成するためには、最新の科学的知見に基づいた医科学サポートやトレーニング環境を整備することは不可欠である。そこで、スポーツ科学センター的な拠点施設を整備し、県内アスリートの体力を科学的に分析し、大学や関係団体と連携して医科学サポートを行い、スポーツパフォーマンスの向上につなげる。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 体育健康安全課 体力・競技力向上担当

電話：088-621-3165

メール：taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp

林業担い手確保プロジェクト

ミッション: 魅力度UP

戦略11: 攻めの農林水産業

戦略13: 労働力・後継者不足対策の推進

事業期間: 令和7年度から

総事業費: 50,000千円

コンセプト・目指す成果

徳島県の森林は、戦後植林されたスギの大半が利用期を迎えています。しかし、林業現場では、深刻な担い手不足により、県産材の生産量は近年伸び悩んでおり、旺盛な木材需要に十分応えられていない状況です。

未来の森林を守る「林業の担い手確保」を進め、「伐って、使って、植えて、育てる」林業の好循環とゼロカーボンの実現を目指します。

プロジェクトの内容

林業の担い手を確保するため、様々な林業就業体験の開催や、就業相談ガイダンスへの参加による新規就業者の掘り起こしのほか、受入れ側の林業事業体とのマッチング等を実施します。

また、林業現場で即戦力となる人材を、1年間の実践的な研修で養成する「とくしま林業アカデミー」の運営を支援します。林業の第一線で活躍する講師による「現場力重視」のカリキュラムが、アカデミーの魅力のひとつとなっています。

1. 伐倒実習



2. 林業就業体験



3. 林内での集合写真



4. 森林の仕事ガイダンス(就業相談)



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 林業振興課 造林・担い手担当

電話：088-621-2795 メール：ringyoushinkouka@pref.tokushima.lg.jp

森林の魅力創出プロジェクト

ミッション: 安心度UP

戦略4: グリーン社会の構築

ミッション: 魅力度UP

戦略11: 攻めの農林水産業

事業期間: 令和7年度から

総事業費: 157,296千円

コンセプト・目指す成果

本県の森林が有する木材生産や水源かん養、国土保全など多面的機能の強化と、「2050年ゼロカーボン」を達成するためには、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用による「適切な森林管理」が不可欠であることから、県有林をはじめとする森林等の価値を最大化します。

プロジェクトの内容

「企業版ふるさと納税」を契機に、県民の財産である県有林等の価値を最大化することにより「2050年ゼロカーボン」の達成に寄与するとともに、県内外の企業の皆様が本県の豊かな森林や県産材の魅力を知っていただく機会とする。また、連携協定の締結などにより互いに成長し合える持続的な関係を構築し、本県林業が抱える課題解決に向けて企業のノウハウの活用など民間投資を呼び込める本県農林水産業のモデルケースとして展開します。

(1) 公有林の整備・活用

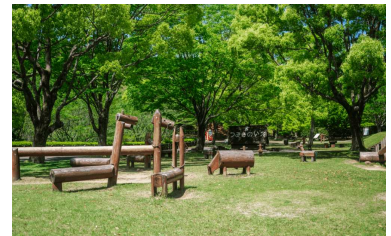
県有林をはじめとする公有林において「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用による適切な森林管理の実施及びJクレジットによる新たな価値の創出



(2) 神山森林公園40周年に向けたリニューアル

40周年記念に向けた改修等工事

(遊具等のリフレッシュ事業)



(3) 徳島木のおもちゃ美術館の魅力発信

県内外・海外に向けた徳島ならではの木育発信

(美術館運営・玩具等備品整備・情報発信)



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 林業振興課 森林利用・木育担当

電話: 088-621-2459 メール: ringyoushinkouka@pref.tokushima.lg.jp

日本農業遺産”樵木林業”ステップアップ事業

ミッション: 魅力度UP

戦略11: 攻めの農林水産業

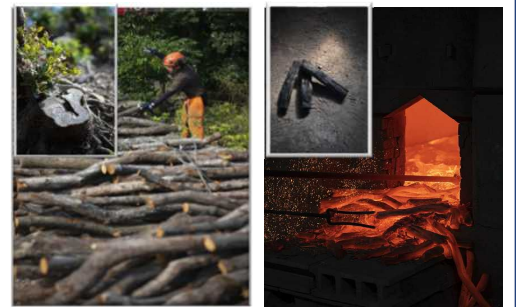
事業期間: 令和8年度

総事業費: 8,800千円

コンセプト・目指す成果

徳島県南地域では、古来より沿岸部に広がる常緑広葉樹林を伝統技法により択伐し、薪や炭を生産して、関西圏のエネルギー需要を支えてきたが、戦後のエネルギー革命以降生産活動が低調となることで、森林が放置され大径化し、病虫害により健全性を失いつつある。そこで県・市町・林業団体等で構成する「とくしま樵木林業推進協議会」を核に、関係者一丸となって、樵木林業の振興を通じ環境に優しい広葉樹施業の推進と地域産業の再興によって森林資源を活用した地域活性化と持続可能な循環型社会の実現を図るべく、次の成果を目指し、プロジェクト活動を実施する。

- 樵木林業の科学的・歴史的知見の明確化による価値向上
- 樵木林業の魅力向上による担い手の育成
- 樵木林業を核とした県南地域の活性化



プロジェクトの内容

令和3年に「とくしま樵木林業推進協議会」が設立され、翌年には備長炭の生産も復活する中、協議会では、この森林を樵木林業によって再生を促し、森林保全や沿岸部の景観維持等に繋げるとともに、ウバメガシから産まれる備長炭とのコラボによる農林水産物のPRや消費拡大等を推進してきた。こうした取組により樵木林業を核とした生態系保全・農林水産業複合システムが評価され、国から令和7年1月に「日本農業遺産」の認定を受けた。このプロジェクトでは次の事項に取り組む。

- 樵木林業の価値を一層高めるための生物多様性調査によるエビデンスの明確化及び歴史的資料・遺産の保全
- 地域内外の方を対象に樵木林業の理解を深めるための講演会の実施
- 将来の担い手育成を目指し、伝統産業である樵木林業への理解醸成を図るための地元小学校等への木育活動の実施
- 樵木林業の認知度向上のためのチラシやグッズの作成とイベント参加等の広報活動の展開



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 南部総合県民局農林水産部＜美波＞ 林務担当

電話：0884-74-7480 メール：hirota_junya_1@pref.tokushima.lg.jp

徳島バッテリーバレイ構想

ミッション: 魅力度UP

戦略12: 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

事業期間: 令和6年度～7年度

総事業費: 55,600千円

コンセプト・目指す成果

蓄電池関連産業を徳島県の新たな産業の柱として確立し、グローバルなカーボンニュートラルの推進や国の経済安全保障に貢献するため、関連企業が集積する産業構造の構築により、雇用の創出と県民所得の向上を図ります。

プロジェクトの内容

徳島バッテリーバレイ構想に掲げる「生産性向上」、「人材育成・確保」、「新事業展開・誘致促進」、「情報発信・普及拡大」の4つの戦略に基づく施策展開を行い、サプライチェーンの構築を見据えた「蓄電池関連産業の集積」を目指します。

■効果指標

KPI	2022年	2030年	伸び率
製造品出荷額	1,603億円	3,000億円	約187%
従業員数	4,232人	5,000人	約118%



詳しくはこちらから



県立高校でのバッテリー教育

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】企業支援課新産業立地室 新産業戦略担当

電話：088-621-2306 メール：kigyoushienka@pref.tokushima.lg.jp

ディープレック・イノベーション創出総合支援事業

ミッション: 魅力度UP

戦略12: 地域経済を牽引する企業の成長と新産業の創生

事業期間: 令和7年度

総事業費: 16,000千円

コンセプト・目指す成果

県内大学発スタートアップや県内企業独自のテクノロジーを活かしたディープレック・イノベーション創出による地域経済の活性化を図る。

プロジェクトの内容

ディープレック領域における起業マインドを醸成するイベントの開催、経営人材育成プログラムや専門家による伴走型支援の実施、国内外の展示会出展費用の補助や首都圏でのピッチイベント開催など、創業期から事業拡大期まで県内スタートアップの成長を多角的に後押しします。



大阪・関西万博における徳島県ディープレックイベント

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 産業創生・大学連携課 産業創生担当

電話: 088-621-2325

メール: sangyousouseidaigakurenkeika@pref.tokushima.lg.jp

官民協働プロジェクト推進事業

ミッション: 魅力度UP

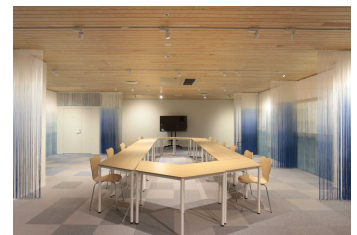
戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

事業期間: 令和7年度

総事業費: 184,040千円

コンセプト・目指す成果

地域課題の解決に向けた官民共創・DX人材交流育成拠点
「とくしまDX推進HUB toku-Noix とくのわ」を活用し、
課題解決のためのプロジェクトを実施して地域DXを推進する。



プロジェクトの内容

徳島県の地域課題とその課題を解決するソリューションを県内外から公募し、「とくのわ」を起点に産学官民からなるワーキンググループにおいて実証実験を行い、社会実装を目指す。

また、地域課題の解決に向けたイベント・セミナー等の開催を通じて参加者が積極的に「学び」「交流する」場として、また幅広い世代が利用するコワーキング・スペースとして「とくのわ」を活用することで、様々な職業や立場の方々の交流から生まれる共創によるイノベーション、新たなビジネスの創出につなげる。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 情報政策課 地域社会DX担当

電話：088-621-2090

メール：jouhouseisakuka@pref.tokushima.lg.jp

日本のど真ん中で魅力発信！事業

ミッション: 魅力度UP

戦略14 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

事業期間: 令和8年度

総事業費: 4,202千円

コンセプト・目指す成果

日本三大経済圏の一つである「東海地方」において、徳島ゆかりのネットワーク構築及びネットワークを活用した本県の実力発信により、本県の認知度向上や観光誘客の促進、移住やUターンなどの推進などを図る。



プロジェクトの内容

「東海地方」において、本県にゆかりや関心のある若者を中心とした「徳島ゆかりのネットワーク」を構築し、本県企業等も参加する「ビジネス交流会」を開催するとともに、若者向けに観光や物産、移住やUターンなど徳島の魅力について発信する事により、本県の交流人口を拡大するとともに、ヒト・モノを本県へ呼び込み、「徳島の活性化」に繋げる。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】 東海本部 企画連携担当

電話：052-262-4677

メール：toukaihonbu@pref.tokushima.lg.jp

新町川のにぎわい創出事業

ミッション: 魅力度UP

戦略14: 国内外から選ばれる魅力的な地域づくり

事業期間: 令和7年度～

コンセプト・目指す成果

新町川における、あらゆる人々が集い、にぎわいある水辺空間の創出や、万代中央ふ頭の岸壁ゾーンにおいて、オープンスペースの緑地化を進め、憩いの場やにぎわい空間を創出します。

プロジェクトの内容

新町川は「水の都・とくしま」の象徴であり、新町川沿いの遊歩道整備や公共地を活用したマルシェの開催等により、水辺のにぎわい創出や親水性向上を目指します。

また、万代中央ふ頭は、港湾倉庫街をリノベーションし、かつての「物流拠点」から「にぎわい空間」への転換を進めており、岸壁ゾーンの緑地化の整備とあわせて、周辺エリアの魅力を高め、人々が集まる魅力ある空間の創出を目指します。



(新町川でのイベントの様子)



(万代中央ふ頭でのイベントの様子)

徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

(新町川のにぎわい創出に関すること) 河川整備課 流域治水担当

電話: 088-621-2572 メール: kasenseibika@pref.tokushima.lg.jp

(万代中央ふ頭のにぎわい創出に関すること) 港湾政策課 資産活用担当

電話: 088-621-2587 メール: kouwanseisakuka@pref.tokushima.lg.jp

未来につなげる広報事業

ミッション: 透明度UP

戦略15: 開かれた県政運営の推進

事業期間: 令和7年度

総事業費: 275,036千円

コンセプト・目指す成果

県民をはじめ、国内外の方との双方向コミュニケーションを活発に行い、即時性に富んだ魅力的な情報発信により、本県の注目度の向上や交流人口の拡大を図ります。

プロジェクトの内容

国内外から県政への関心や理解をより一層深めてもらうため、即時性の高いSNSやインターネットを活用するとともに、新聞やテレビ、広報紙など広報媒体のメディアミックスを展開し、本県の魅力や県政方針・重要施策等について、あらゆる世代に効果的な情報発信を推進します。



徳島県では、本プロジェクトにご賛同いただける企業様からの寄附をお待ちしております。

【お問い合わせ先】知事戦略局

電話: 088-621-2021 メール: chijisenryakukyoku@pref.tokushima.lg.jp